

小学校外国語活動・外国語の 評価について

広島県神石高原町立油木小学校

平岡 昌子

本日の柱

- 1 現在の外国語活動の評価について
 - (1)現状
 - (2)成果
 - (3)課題
- 2 研究開発学校における外国語の評価について
 - (1)評価の実際
 - (2)評価の良さ
 - (3)評価の課題
- 3 今後の評価の方向性について

1 現在の外国語活動の評価について

(1) 現状

① 評価の基本的な在り方

文章記述

外国語の評価においては、設置者において、学習指導要領の目標及び具体的な活動等に沿って評価の観点を設定することとし、文章の記述による評価を行う。

1 現在の外国語活動の評価について

(1) 現状

① 評価の基本的な在り方

観点別学習状況の評価(平成22年通知)

2. 外国語活動の記録

(1) 評価の観点及びその趣旨

<小学校 外国語活動の記録>

観点	コミュニケーションへの関心 ・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
趣旨	コミュニケーションに関心をもち、積極的にコミュニケーションを図ろうとする。	活動で用いている外国語を聞いたり話したりしながら、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しんでいる。	外国語を用いた体験的なコミュニケーション活動を通して、言葉の面白さや豊かさ、多様なものの見方や考え方があることなどに気付いている。

1 現在の外国語活動の評価について

(1) 現状

② 評価の実際

事例：「Hi, friends! 2 : Lesson 4 Turn right. 道案内をしよう」

6 単元の評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
<ul style="list-style-type: none">相手意識をもって目的地への行き方を尋ねたり、分かりやすく道案内をしたりしている。	<ul style="list-style-type: none">建物の名前や道案内に関する表現に慣れ親しんでいる。	<ul style="list-style-type: none">英語と日本語とでは、建物や場所の表し方が違うことに気付いている。

1 現在の外国語活動の評価について

(1) 現状

7 単元計画

時間	活動とねらい	言語材料	観点			評価規準(評価方法)
			コ	價	言	
第1時	<ul style="list-style-type: none"> ○ いろいろな建物の言い方を知り、日本語と英語の共通点や相違点に気付く。 ・ “What’s this?” クイズを通して、建物の言い方を知る。 ・ チャンツで言い方の練習をする。 ・ キーワードゲーム ・ ミッシングゲーム ・ ドンジャンゲーム 	What’s this? It’s~. park, flower shop, hospital, book store, supermarket, fire station, police station, convenience store, post office, station				<ul style="list-style-type: none"> ○ 英語での建物の言い方を知り、日本語と英語の共通点や相違点に気付いている。(行動観察・振り返りカード分析)
第2時	<ul style="list-style-type: none"> ○ 動作を表す言い方や庄原市内の場所、建物の言い方を知り、慣れ親しむ。 ・ “What’s this?” クイズを通して、庄原にある建物や場所の言い方をチャンツで練習をする。 ・ キーワードゲーム ・ 「Simon says」ゲーム ・ P15 “Let’s Listen” をする。 	Turn right. Turn left. Go straight. Stop. The BIG supermarket Yumesakura store, Shobara fire station, Shobara police station, convenience store, Shobara station, Ueno park, Bihoku kyuryou park, Shobara Red Cross hospital, Balling center, Ueno general park				<ul style="list-style-type: none"> ○ いろいろな動作の表現や建物の言い方を聞いたり言おうとしたりしている。(行動観察・振り返りカード点検・Hi, friends!)
第3時	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目的地への行き方を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ・ チャンツ ・ “Where is the~?” の表現を使って、「仲間探しゲーム」をする。 ・ 地図を使って、「道案内ゲーム」をする。 	Where is the~? OK! Let’s go! Here it is. Thank you. You’re welcome.				<ul style="list-style-type: none"> ○ ゲームを通して、目的地への行き方を尋ねたり答えたりしている。(行動観察・振り返りカード点検)

評価方法として

(ア) 行動観察

(イ) 振り返りカード点検

(ウ) 振り返りカード分析

(エ) ワークシート点検

1 現在の外国語活動の評価について

(1) 現状

② 評価の実際(評価方法)

(ア) 行動観察

- ・評価規準を基に児童の行動を見取る
- ・評価の観点「気づき」
 - 発言する児童は、見取ることができる
 - 発言しない児童は、振り返りカードで捉える

1 現在の外国語活動の評価について

(1) 現状

② 評価の実際(評価方法)

(イ) 振り返りカード点検

- ・「振り返りカード」に書いている自己評価と指導者の見取りに相違がないかを見る。

【めあて】 建物の英語の言い方を知り、日本語との違いに気付く。	😊 よくできた	😊 できた	😊 もう少し	😊 むずかしかった
☆ 建物の英語表現が分かりましたか。	😊			
☆ 建物の英語表現を聞いて、日本語との違いに気付きましたか。	😊			
♥ 今日の学習について振り返りましょう。 <u>わが校の英語表現は、日本語と比べて、</u> さかきとちがうところがある。日本語と異なるところを、 教科書に載っている英語表現の言い方を知りたいです。 例えば、 <u>エレベーター</u> 、その他、 <u>エレベーター</u> 。				





1 現在の外国語活動の評価について

(1) 現状

② 評価の実際(評価方法)

(ウ) 振り返りカード分析

- ・授業中の児童の行動観察だけでは見とれない場合、「振り返りカード」の内容を分析し、児童の様子を捉える

【めあて】 目的地への行き方を尋ねたり、言ったりする表現に慣れ親しむ。				
	よくできた	できた	もう少し	むずかかった
☆ 目的地への行き方を尋ねましたか。	<input type="checkbox"/>			
☆ 道案内をしましたか。	<input type="checkbox"/>			
♥ 今日の学習について振り返りましょう。 男子にしか分からない場所を聞いたり女子にしか分からない場所を聞いてくることかできました。道案内ですべての場所が分かるようになりました。セキなどとはなしていません。				

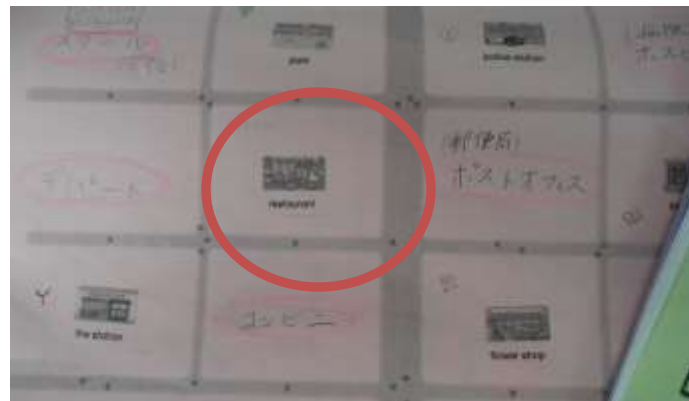
1 現在の外国語活動の評価について

(1) 現状

② 評価の実際(評価方法)

(エ) ワークシート点検

- ・授業中の児童の行動観察と合わせて、ワークシートの記載から児童の様子を捉える



- ・コミュニケーション活動が行えていたか捉える

1 現在の外国語活動の評価について

(2) 成果

多様な評価方法で児童の様子を捉え、授業改善につなぐ

・いろいろな評価方法

行動観察, 振り返りカード点検・分析, ワークシート点検

→児童を多面的に見取ることが可能

→授業改善につなぐ

→通知表に, 児童の具体的な姿で記入

1 現在の外国語活動の評価について

(3) 課題

① 文章記述の多さと担任による内容の差異

文章記述

- ・外国語活動
- ・総合的な学習の時間
- ・所見欄
(学習全般・生活全般)

児童 通知表	
外国語活動のようす	
総合的な学習の時間のようす	
学校生活のようす	
1	すすんであいさつや返事をする。
2	机やロッカーの中など身の回りの整理・整頓をする。
3	授業に気をつけ、進んで活動し、元気に生活する。
4	自らの目標に向かって、責任までねばり強く取り組む。
5	探や目標、当番、委員会の仕事などを責任をもってやりとげる。
6	自分でよく考え、工夫して取り組む。
7	相手の気持ちや立場を理解して思いやり、協力して生活する。
8	生命や自然のすばらしさを感じ、自らの生命を大切にする。
9	自ら進んで仕事をしたり、たまって憤懣をしたりする。
10	だれに対してもわけへだてなく行動する。
11	みんなが使うものを大切にし、拍球やまわりを守って生活する。
所 見	

1 現在の外国語活動の評価について

(3) 課題

② 児童にどのような力が付いたかを例文に合わせる

文章の型や例文を決める学校も

・本来

その子にどのような力がつきたか
文章表現で示すことになっている。

・しかし

その子の文章表現を例文から合わす

〈例文〉



1 現在の外国語活動の評価について

(3) 課題

③ 児童の学習意欲へのつながり

- ・文章記述のみでは、児童にとって、どのようなことができるようになったのかがわかりにくいいため、次の学習意欲へつながりにくい

2 研究開発学校における英語科の評価について

(1) 評価の実際

① 英語科の目標 (案)

1 目標

外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、身近で簡単なことについて英語の基本的な表現に係わって聞くことや話すことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。

2 4技能に係る目標

- (1) 身近で簡単なことについて話される初歩的な英語を聞いて話し手の意向などを理解できるようにする。
- (2) 身近で簡単なことについて、初歩的な英語を用いて自分の考えなどを話すことができるようにする。
- (3) アルファベットや単語に慣れ親しみ、英語を読むことに対する興味を育てる。
- (4) アルファベットを書くことに慣れ親しみ、英語を書くことに対する興味を育てる。

2 研究開発学校における英語科の評価について

(1) 評価の実際

② 評価の考え方

評価の観点とその趣旨

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
趣旨	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	英語で話したり書いたりして、自分の考えなどを表現している。	英語を聞いたり読んだりして、話し手や書き手の意向などを理解している。	英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。

2 研究開発学校における英語科の評価について

(1) 評価の実際

② 評価の考え方

3段階での評価

① 観点別学習状況

学習指導要領に示す英語科の目標に照らして、その実現状況を観点ごとに評価し、次のように区別して記入する。

- | | |
|-----------------------|-----|
| 「十分満足できる」状況と判断されるもの | : A |
| 「おおむね満足できる」状況と判断されるもの | : B |
| 「努力を要する」状況と判断されるもの | : C |

② 評定（第5学年以上）

学習指導要領に示す各教科の目標に照らして、その実現状況を総括的に評価し、次のように区別して記入する。

- | | |
|-----------------------|-----|
| 「十分満足できる」状況と判断されるもの | : 3 |
| 「おおむね満足できる」状況と判断されるもの | : 2 |
| 「努力を要する」状況と判断されるもの | : 1 |

2 研究開発学校における英語科の評価について

(1) 評価の実際

③ 単元の目標、評価規準

事例：6年 話すこと(発表)1

3 単元の目標

- 学校の目標と教科が行事，そこで行われる学習の内容を関連付け，内容に合わせて声の変化と表情の変化を工夫してプレゼンテーションする。
- 相手や目的を意識し，表現の工夫をしながら積極的にプレゼンテーションの練習をしたり発表したりする。
- プレゼンテーションの論理を展開するための，文の順番や文内の語順，単語の意味を正しく理解する。

4 単元の内容

	主としてコミュニケーションに関すること	主として言語や文化に関すること
	○外国人を含めた初めて本校に来られたお客様に，学校の紹介をすること。	○have, study, learn を使って学校で行っている学習を説明し，それと関連付けて学校の目標を説明すること。
表 現	What a wonderful time! / We have [study] ○○ / We learn ○○ / We ○○ through ○○	
主な語彙	have a dream / be ambitious / learn from oneself / have a rich mind / have a sound body / make a challenge / subjects / school events	

5 単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
プレゼンテーションの意味を捉え，よりよい発表のイメージや見通しを持ち，正しい発音とイントネーションを意識しながら積極的に練習している。	自分の伝えたい内容に合わせて声と表情を変化させながら正しくプレゼンテーションすることができる。		プレゼンテーションの柱となる語と，学校にある事実を結び付けて自分の説明する内容を論理的に理解している。

2 研究開発学校における英語科の評価について

(1) 評価の実際

④ 単元の指導計画

時	目標	評 価					
		関	表	理	知	評 価 規 準	評 価 方 法
1	プレゼンテーションの意味を知り、プレゼンテーションで目指す姿のイメージを持つ。	◎	+	+	+	プレゼンテーションの意味を捉え、積極的にプレゼンテーションの面白さに係り、意欲を高めている。	行動観察、 振り返りカード
2	自分たちが行うプレゼンテーションの内容や骨子を理解する。	+	+	+	○	プレゼンテーションのテーマを決め、プレゼンテーションの柱となる語を知って進んで練習している。	行動観察、 振り返りカード
3	プレゼンテーションの柱になる6つの言葉（学校の目標）の発音と意味を理解する。	+	+	+	○	プレゼンテーションの柱となる語の意味を理解して発話している。	行動観察
4	6つの柱の言葉（学校の目標）を、行事や教科と関連付けて考える。	+	+	+	○	プレゼンテーションの柱となる語と、具体的事実を結び付けて考えている。	行動観察
5	グループで柱の言葉（学校の目標）と適応する学校の行事が教科を1つ選び、その行事が教科で行う内容を柱の言葉と関連付けて考える。	+	+	+	◎	we learnのあとに、目的格となる内容を柱の言葉（学校の目標）と関連付けて日本語で書き込んでいる。	行動観察、 ワークシート
6	自分たちがプレゼンテーションする文章の全体像を理解し、論理を構成する文の順番、それぞれの文中の語や語順を知る。	+	+	+	○	発表原稿の全文を知り、自分たちの考えた言葉や柱となる言葉がどの場所に入るのが文や文章の構造を理解している。	行動観察、 振り返りカード
7	自分たちがプレゼンテーションする文章の全体像を理解し、論理を構成する文の順番、それぞれの文中の語や語順を理解する。	+	+	+	○	プレゼンテーションの柱となる語と、学校にある事実を結び付けることができる。	行動観察、 振り返りカード
8	自分たちがスピーチする内容を、正しい発音とイントネーションを意識して練習する。	◎	+	+	+	よりよりスピーチのイメージや見通しを持ち、正しい発音とイントネーションを意識しながら積極的に練習している。	行動観察、 振り返りカード
9	自分たちがスピーチする内容を、正しい発音とイントネーションを意識して練習する。	○	+	+	+	発表イメージを持ち、到達目標を理解して練習している。	行動観察、 振り返りカード
10	チームで効果的な話し方の工夫について話し合い、練習の成果を生かして発表をする。	+	◎	+	+	内容に合わせて声と表情を変化させながら正しくプレゼンテーションすることができる。	行動観察（グループ数回） 最終パフォーマンステスト

評価方法として

(ア) 行動観察

(イ) 振り返りカード

(ウ) ワークシート

(エ) パフォーマンス評価

2 研究開発学校における英語科の評価について

(1) 評価の実際

⑤ 評価方法

パフォーマンス評価

- ・各単元の終末に位置づける。
- ・動画で記録して、評価規準にそって評価する。
(プレゼンテーション, スピーチ, 相手を設定した活動状況を録画し, 指導者が授業後に視聴分析する)

2 研究開発学校における英語科の評価について

(1) 評価の実際

⑥ 評価方法

パフォーマンス評価

- ・教師が撮影したり、タブレットで子供が相互に撮影したりする。
- ・指導者が授業後に児童全員のパフォーマンス動画を視聴し評価する。

2 研究開発学校における英語科の評価について

(2) 評価の良さ

パフォーマンス評価

・表現の能力を評価する基準を作成することで、目指す子供像の共通理解が図れるとともに、目標に向けた指導が明確になる。

2 パフォーマンス課題とルーブリック

(パフォーマンス課題)
 広島大学の先生からのミッションに従い、学校案内の準備をして学生と英語交流をする。
 <評価規準>
 学校の場所の案内と、自分の事に係る簡単な応答を英語ですることが出来る。

規 準	言語の正確さ (単語・文・文章)	言語運用の適切さ	
		準言語	非言語
十分な達成 (3点)	・ミッションに合わせてあらかじめ準備した英語を、場面に合わせて適切な表現(主述の整った表現、品詞の運用が明確な表現)で活用し、説明したり応答したりできる。	・目的を達成するための適切な聞き返しや言い返しを行うとともに、交流を進めるための自発的な発話をしながらやりとりできる。	・交流を豊かにするために、応答や説明の表情や態度を工夫することができる。 ・自分の伝えたい事をより伝えやすくするためにジェスチャーやリアクションを工夫することができる。
概ね達成 (2点)	・ミッションに合わせてあらかじめ準備した英語を、場面に合わせて活用し、意図を伝えたり応答したりできる。	・相手の意向が聞き取れなかったり自分の伝えたいことが伝わらなかったりした時に、日本語を使わずに聞き返しや言い直しをして目的を達成できる。	・目的を達成するための表情や視線の向け方、うなずく、首を振るなどの反応をしながらやり取りすることができる。
劣る等の達成 (1点)	・質問に対して英語で正しく応答できない。 ・質問された表現や語彙の意味が理解できない。	・目的を達成するための英語での聞き返した言い直しができない。 ・相手とのやり取りの中で反応のための英語を使用できない。	・表情が変化しない。 ・視線が向けられない。 ・うなずく、首を振る等の応答反応が無い。

2 研究開発学校における英語科の評価について

(2) 評価の良さ

パフォーマンス評価

- ・授業の中で、現れては消えていく児童の表情や発話が記録されるため、イメージや一過性のものではない、表現の能力を見取ることができる。

生活	生活の技能				
	家庭生活についての知識・理解				
体育	運動や娯楽、安全への関心・意欲・態度				
	運動や娯楽、安全についての思考・判断				
	運動の技能				
	娯楽、安全についての知識・理解				
英語	コミュニケーションへの関心・意欲・態度				
	外国語表現の能力				
	外国語理解の能力				
	言語や文化についての知識・理解				

2 研究開発学校における英語科の評価について

(3) 評価の課題

パフォーマンス評価

- ・各単元において、一人ずつの表現を撮影すると相当な時間が必要となる。

3 今後の外国語活動・外国語科の 評価の考え方

①多様な方法で児童を見取る

○学習指導要領等の目標に照らして設定した観点を踏
まえた「目標に準拠した評価」

→ 外国語WG検討中の「資質・能力」を踏まえ「英語を
学んで子供たちにどういった力が身についたか」とい
う学習の成果を捉えること

○各学校の学習到達目標(CAN-DO形式)と学習評価

→学習活動の特質等に応じて、年間を通じてインタ
ビュー、スピーチ等のパフォーマンス評価、活動の観
察等、様々な評価方法の中からその場面における児
童の学習状況を的確に評価できる方法をバランスよく
選択する

3 今後の外国語活動・外国語の評価の考え方

②CAN-DOリスト形式の学習到達目標を児童と共有する

- ・外国語活動においても，児童が自分がどのようなことができるようになったのかを自覚することで，学習の意欲向上を図る(拠点校の取組)

- ・「知識・技能」だけでなく，「思考・判断・表現」，「主体的に学習に取り組む態度」の観点との整理が必要

＜小学校外国語補助教材

ワークシート CAN-DOリスト振り返り＞

The worksheet is titled "CAN-DOリスト 振り返り" (CAN-DO List Review). It features a central illustration of a young boy with brown hair, wearing a yellow shirt and brown pants. Surrounding him are several thought bubbles, each containing a specific skill or achievement in Japanese. The skills listed include:

- アルファベットの小文字 26種類を見て、それを聴くことができる (I can see 26 types of lowercase letters and hear them.)
- 先生が読む This is Me! を聴くのを聞いて、その内容がわかる (I can hear the teacher read 'This is Me!' and understand the content.)
- 先生が書く アルファベットを 書くことができる (I can write the letters that the teacher writes.)
- 先生の読み A letter to ... を 聴くのを聞いて、その内容がわかる (I can hear the teacher read 'A letter to ...' and understand the content.)
- アルファベット26種類の 読み方を聞いて、どのアルファベットの 小文字かがわかる (I can hear the reading method for 26 types of letters and know which lowercase letter it is.)
- アルファベット 26種類の音を 言うことができる (I can say the sounds of 26 types of letters.)
- 先生が読む A letter to ... を 聴くのを聞いて、先生が読む英文を 復述することができる (I can hear the teacher read 'A letter to ...' and repeat the English text.)
- 先生 This is Me! が 先生が読む英文を 復述することができる (I can repeat the English text that the teacher reads 'This is Me!').
- アルファベット26種類の 読み方を聞いて、どのアルファベットの 大文字かがわかる (I can hear the reading method for 26 types of letters and know which uppercase letter it is.)
- アルファベットの大文字 26種類を見て、 それを聴くことができる (I can see 26 types of uppercase letters and hear them.)
- アルファベットの大文字 26種類を見て、 それを聴くことができる (I can see 26 types of uppercase letters and hear them.)
- アルファベット26種類の 読み方を聞いて、どのアルファベットの 大文字かがわかる (I can hear the reading method for 26 types of letters and know which uppercase letter it is.)
- 先生 A letter to ... が 先生が読む英文を 復述することができる (I can repeat the English text that the teacher reads 'A letter to ...').
- 先生 This is Me! が 先生が読む英文を 復述することができる (I can repeat the English text that the teacher reads 'This is Me!').
- アルファベット26種類の 読み方を聞いて、どのアルファベットの 大文字かがわかる (I can hear the reading method for 26 types of letters and know which uppercase letter it is.)

3 今後の外国語活動・外国語の評価の考え方

③CAN-DOリスト形式の学習到達目標を評価に生かす

・・・これまでは、CAN-DOリスト形式の目標は、観点別学習状況の評価のうち、「外国語表現の能力」「外国語理解の能力」の評価に活用するのに適していると考えられる。

(『各中・高等学校の外国語教育における「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標設定のための手引き』,「児童生徒の学習評価の在り方について(報告書)」平成22年 中央教育審議会等中等教育分科会教育課程部会)



○観点別学習状況の評価における「関心・意欲・態度」は、「他の観点に係る資質や能力の定着に密接に関係する重要な要素」とされ、単元における学習と一体的に評価が行われる必要。

例えば、思考力・判断力・表現力の観点として「～している」とする観点を「～しようとしている」として、その単元における評価を行うことによって、「生徒の主体的に学習に取り組む態度」を身に付けているかどうかを評価することが重要ではないか。

3 今後の外国語活動・外国語の評価の考え方

④「主体的に学習に取り組む態度」の評価

○観点別学習状況の評価における「態度」は、他の観点にかかわる資質や能力の定着に密接に関係する重要な要素であるとされ、単元における学習と一体的に評価が行われることが重要。

例えば、以下のように評価を行うことが考えられる

～できる 「知識・技能」

～している 「思考力・判断力・表現力」

～しようとしている 「主体的に学習に取り組む態度」

3 今後の外国語活動・外国語の評価の考え方

「論点整理」における評価の観点	検討課題及び方向性(例)
「知識・技能」	<p>＜外国語活動＞ ※定着までも求めるものではないことに留意。 ○外国語を用いた体験的なコミュニケーション活動を通して、外国語に慣れ親しんでいる。</p> <p>＜外国語＞ ○外国語の4技能(聞くこと、話すこと、読むこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて必要な知識・技能を身に付けている。</p>
「思考力・判断力・表現力等」	<p>＜外国語活動＞ ○簡単な語句や表現を使って、自分のことや身の回りのことについて、友達に質問したり質問に答えたりしている。</p> <p>＜外国語＞ ○馴染みのある提携表現を使って、自分の好きなものや、一日の生活などについて考え、友達に質問したり答えたりしてするなどして表現している。</p>
「主体的に学習に取り組む態度」	<p>＜外国語活動・外国語＞ ○外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさや言語を用いてコミュニケーションを図る大切さを知り、相手意識を持って外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>